

平成24年度第2回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨

[日 時] 平成24年12月20日(火) 16:10～17:30

[場 所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者] 6名：宮国孝男(那覇市立病院)
山城篤(那覇市立病院)
吉澤龍太(那覇市立病院)
増田昌人(琉大病院がんセンター)
下地孝子(琉大病院看護部)
尾崎信弘(沖縄県立八重山病院)

[欠席者] 3名：池間龍也(沖縄県立宮古病院)
宮里義久(南部福祉保健所)
喜舎場朝雄(沖縄県立中部病院)

[陪席者] 1名：安里千恵美(琉大病院がんセンター)

協議に先立ち、平成24年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨が承認された。

報告事項：

1. 研修リストの作成と公開について
宮国部会長より、資料2にもとづき、前回部会以降に事務局でホームページに公開した研修会について報告があった。
2. 研修リストの作成と公開について
宮国部会長より、資料3に基づき拠点病院で開催した各種研修会の報告があった。
下地委員より、研修会名と参加人数を一覧で作成して欲しいとの要望があった。
3. 沖縄県「次期がん対策推進基本計画」(協議会案)について
宮国部会長より、資料4に基づき報告が行われた。
1-(2)がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成について以下の意見があった。
尾崎委員より、医療従事者の配置について、県に現状を把握してもらう必要があると思うと意見が述べられ、宮国部会長からも、現状を添付資料として作成したほうが良いのかと提案があった。
下地委員より、2. 施策「③29年度には、拠点病院には、常勤の手術看護認定看護師が2名以上、専門的医療機関には、同看護師を1名以上配置する。」について、養成機関が日本国内に1箇所、年間20人しか養成できず、ハードルが高いので、現実的には難しいとの意見があった。

4. 人材バンクリストの公開について

宮国部会長より、資料5に基づき、人材バンクリストが完成し、「沖縄県がん診療連携協議会・がんじゅうネット」に掲載されている報告があった。追加や変更等があれば、事務局まで連絡して下さい。

協議事項：

1. 平成24年度事業評価について

宮国部会長より、資料6に基づき、今年度の事業評価について確認と修正が行われた。

「1・医師向けの早期診断の為の研修会を開催する」

→10点に修正

「2・医師向けの化学療法及び放射線療法の副作用策も含む研修会を開催する」

→10点に修正

2. 平成25年度事業計画・予算案と部会運営について

宮国部会長より、資料7に基づき、平成25年度の事業計画と予算案について確認が行われた。事業計画3の認定薬剤師制度の活用、薬剤師向けの研修会を年2回を1回に減らし、来年度も、がん看護研修会事業を追加する事となった。

下地看護部長より、がん看護研修会については、基礎編を看護協会で開催し、アドバンスコースは拠点病院で1回開催したいので予算を割り当てて欲しいと要望があり、112,200円の予算を付けることで一致した。下地委員より、この予算を那覇市立病院に付けて、那覇市立病院を中心に企画・運営してもらい、琉大病院や県立中部病院の認定看護師も協力して講師やファシリテーターの役割を担う事も可能と提案があった。

来年度の部会は、年2回開催する事が決まった。

3. 次年度の研修会テーマとスケジュール調整について

平成25年度の研修会のテーマと開催月が以下の通り決定した。

1・早期診断の為の研修会

主催病院名	テーマ	開催日
琉大病院	大腸がん	平成25年8月
那覇市立病院	肺がん	平成25年11月
県立中部病院	肝がん	平成26年2月

2・化学療法および放射線療法の副作用に関する研修会

主催病院名	テーマ	開催日
琉大病院	化学療法	平成 25 年 6 月
	放射線療法	平成 25 年 10 月
那覇市立病院	化学療法	平成 25 年 9 月
	放射線療法	平成 26 年 1 月
部病院	化学療法	平成 25 年 12 月
	放射線療法	平成 25 年 7 月

4・その他

尾崎委員（八重山病院）より、各研修会の案内をもらうが、なかなか参加できないので、各病院主催の研修会のビデを DVD にコピーして、配布してもらえないか？と要望があった。増田委員より著作権の問題もあるので、病院内の勉強会で使用することと、必ず研修会講師にビデオ撮影し送付する許可を取るよう気を付けて下さいと注意点が述べられた。